

# 安全データシート

作成 2025年07月22日  
改訂

## 1. 化学品及び会社情報 ( )

化学品の名称 (製品名)	EcoRosin-E
整理番号	EcoRosin-E
供給者の会社名称	荒川化学工業株式会社
住 所	大阪市中央区平野町1丁目3番7号
担当部門	研究開発本部 コーポレート開発部
担当者 (作成者)	コーポレート開発部 ユニットリーダー
電話番号	029-865-2800
ファックス番号	029-865-2815
緊急連絡先	コーポレート開発部 ユニットリーダー
電話番号	029-865-2800
推奨用途及び使用上の制限	農業用資材

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品のGHS分類

物理化学的危険性	分類できない又は区分に該当しない
健康に対する有害性	分類できない又は区分に該当しない
環境に対する有害性	分類できない又は区分に該当しない

### GHSラベル要素

絵表示	: 非該当
注意喚起語	: 非該当
危険有害性情報	: 非該当
注意書き	: 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて保護手袋、前掛け等を着用して下さい。 応急措置が必要な場合は、すみやかに行ってください。 取扱い後は、手洗いを十分に行ってください。 よくフタをして貯蔵して下さい。 製品の廃棄は、法令に従って行って下さい。 みだりに粉じんが発生しないように取り扱って下さい。 粉じん、ヒュームの吸入を避けて下さい。

### GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性

物理的及び化学的危険性	: 可燃性があるので、火気に注意する。 粉じん爆発危険性
有害性	: 眼、皮膚、呼吸器を刺激する可能性がある。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学名又は一般名	: ロジンエステル

成分	化学特性	官報公示整理番号		CAS No.
		化審法	安衛法	
ロジンエステル	非公開	非公開	既存扱い	非公開

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、症状により医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 水及び石鹼で十分洗浄する。
- 眼に入った場合 : 直ちに、清浄な流水で15分以上瞼の裏側を含めて洗眼した後（出来ればコンタクトレンズを外して）、眼科医の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに、多量の水を飲ませて吐かせ、医師の診断を受ける。意識のない場合は無理に吐かせてはいけない。

#### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、粉末消火薬剤
- 使ってはならない消火剤 : データなし
- 特有の消火方法 : 水または消火剤を使用して消火する。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:  
消火活動では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:  
漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。
- 環境に対する注意事項:  
漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材:  
少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用する。  
多量の場合、漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### 取扱い

- 技術的対策 : 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。  
発散した粉じんを吸入しないように、防じんマスクを着用する。  
屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。  
静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。  
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
- 局所排気・全体換気 : 局所排気内で取り扱う。
- 安全取扱注意事項 : みだりに粉じんが発生しないように取り扱う。  
皮膚、眼との接触を避ける。粉じん、ヒュームの吸入を避ける。  
火気注意。  
機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。  
本製品はロジン誘導体のためロジンとは組成、成分比率が変化しており、ロジンの含有量を表示することは困難ですが、作業者の安全性を考慮しロジンに準じた取扱いを記載しております。

接触回避 : 「10. 安全性及び反応性」を参照。

保管

安全な保管条件 : 容器は、高温下での保管を避け、密閉して屋内一般倉庫に貯蔵する。

安全な容器包装材料 : 特に指定なし

8. ばく露防止及び保護措置

濃度基準値 : 未設定

管理濃度 : 未設定

許容濃度 (日本産業衛生学会) :

粉じん 2mg/m<sup>3</sup> (吸入性粉じん) 、8mg/m<sup>3</sup> (総粉じん)

許容濃度 (ACGIH) :

粉じん 3mg/m<sup>3</sup> (レスピラブル粒子) 、10mg/m<sup>3</sup> (インハラブル粒子)

設備対策 : 密閉された装置、機器の使用又は局所排気装置を設ける。

保護具

呼吸用保護具 : 防じんマスク

手の保護具 : 保護手袋

眼及び顔面の保護具 : ゴーグル型

皮膚及び身体の保護具 : 静電気防止用作業服、静電気防止用保護靴、静電気防止用保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体

外観 : 粉末

色 : 淡黄色

臭い : なし

pH : 該当しない

沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし

融点/凝固点 : 86℃ (軟化点)

分解温度 : データなし

引火点 : 274℃

自然発火点 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし

蒸気圧 : データなし

密度及び/又は相対密度 : データなし

溶解度 : 水 : 不溶  
その他 : トルエンに可溶

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

可燃性 : 可燃性

動粘性率 : データなし

相対ガス密度 : 該当しない

粒子特性 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 常温、常圧で安定。空气中で粒子が細かく拡散して爆発性の混合気体を生じる可能性がある。
危険有害反応可能性	: 自己反応性なし。 粉末や顆粒状で空気と混合すると、粉じん爆発の可能性がある。
避けるべき条件	: 加熱、高温。粉じんの堆積。裸火、静電気、スパーク等による着火源との接触。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

## 製品についての情報

経口	: 製品情報から区分に該当しないとした。
LD <sub>50</sub> (ラット)	> 2000 mg/kg
経皮	: データ不足のため分類できないとした。
吸入 (気体)	: 区分に該当しない。
吸入 (蒸気)	: データ不足のため分類できないとした。
吸入 (粉じん及びミスト)	: データ不足のため分類できないとした。

## 皮膚腐食性/刺激性:

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

粉じん、ヒューム (発煙蒸気) を吸入すると、眼・気道を刺激することがある。<sup>1) 2)</sup>

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性:

反復或いは長期にわたり吸入または皮膚接触すると、感作を引き起こす恐れがある。<sup>1) 2)</sup>

## 呼吸器感作性

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 皮膚感作性

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 生殖細胞変異原性:

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 発がん性:

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 生殖毒性:

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 特定標的臓器毒性 (単回ばく露):

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 特定標的臓器毒性 (反復ばく露):

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

誤えん有害性:

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性:

水生環境有害性 短期 (急性)

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

水生環境有害性 長期 (慢性)

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

残留性・分解性: データなし

生物蓄積性: データなし

土壌中の移動性: データなし

オゾン層への有害性:

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物:

法、条例に従い処理廃棄するか、または許可を受けた指定業者に委託し廃棄する。

汚染容器及び包装:

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。処理は法規の規定に従って行う。

## 1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類 : 該当しない (類似製品の試験結果による)

国連番号 : 該当しない

海洋汚染物質 : 該当しない

国内規制 : 消防法 指定可燃物、可燃性固体類

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策:

火気注意。

直射日光を避け、水濡れ及び荷崩れの防止を確実に行う。

## 1 5. 適用法令

消防法 : 指定可燃物、可燃性固体類

## 1 6. その他の情報

記載内容の問い合わせ先 : 研究開発本部 コーポレート開発部

引用文献:

1) 産業衛生学雑誌 (日本産業衛生学会) 第 40 巻第 4 号 (1998 年 7 月号)

2) 1999 TLV and BEIs (ACGIH)

ここに記載された情報は、弊社所有のデータや種々の技術出版物に記載のデータに従ったものです。本製品を御使用になる場合は、使用者がその責任においてこの情報を御活用下さい。

なお、ここに記載された情報は、現時点での最新情報によるものですが、今後、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の公表等により、改訂がありうることを御承知下さい。